

改定後					現 行					
工事成績評定の審査項目別運用表（土木工事）					工事成績評定の審査項目別運用表（土木工事）					
様式土3-2④ 【記入方法】 該当する項目の□にレマーク (検査員)					様式土3-2④ 【記入方法】 該当する項目の□にレマーク (検査員)					
2. 施工状況	1. 施工管理	a 適切である ●評価対象項目 □1) 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目、内容が適切に記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっていることが確認できる。 □2) 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書が提出されていることが確認できる。 □3) 段階確認、施工状況把握が適期に行われ、記録整理されていることが確認できる。また監督員から指示された施工状況把握について、監督員の立会、依頼が適時・的確に行われている。 □4) 工事の関係書類が不足なく簡潔に整理されていることが確認できる。 □5) <u>工事記録写真等が、写真管理基準及び写真管理実施要領に基づき行われていることが確認できる。また、不可視部分の出来形寸法が不足なく確認できるように整理されている。</u> □6) 施工計画書に土木工事施工管理基準に示した基準を上回る自社の施工管理基準を設定し、管理していることが確認できる。 □7) 工事打合せ簿が適切に交わされ、整理されている。 □8) 工事材料の保管が適切であり、資料の整理及び確認がなされている。 □9) 施工体制台帳及び施工体系図が整備されている。 □10) 設計図書の照査を行い、監督員の確認を受けて施工を行っている。 □11) リサイクルの取り組みが適切に行われている。 □12) その他 理由：	b ほぼ適切である	c 他の評価に該当しない	d やや不適切	e 不適切である				
		該当項目が90%以上・・・a 該当項目が80%以上90%未満・・・b 該当項目が60%以上80%未満・・・c 該当項目が60%未満・・・d	① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。				該当項目が90%以上・・・a 該当項目が80%以上90%未満・・・b 該当項目が60%以上80%未満・・・c 該当項目が60%未満・・・d		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	

改定後					現 行																																																											
工事成績評定の審査項目別運用表（土木工事）					工事成績評定の審査項目別運用表（土木工事）																																																											
様式土3-5(2) 【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する (検査員)					様式土3-5(2) 【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する (検査員)																																																											
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	a 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】、 ※バラツキの判断は様式3-11図参照 ●評価対象項目 □1) 雨水等による滞水、流入が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 □2) 段切りが仕様書に基づき行われていることが確認できる。 □3) 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 ☆ □4) 締固めを適切な条件（巻き出し厚、含水比、転圧機械）で施工していることが確認できる。 □5) 芝付け及び種子吹付が設計図書に定められた条件で行われていることが確認できる。 □6) 構造物周辺の締固めが設計図書に定められた条件で行われていることが確認できる。 □7) 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 ☆ □8) 盛土材料試験（土の締固め試験（CBR試験））及び現場密度の測定等必要な試験を行っている。 □9) <u>切土、盛土法面に有害な亀裂がない。</u> □10) 伐開・除根作業により発生した伐開木、根株、枝条等が適切に処理されている。 □11) <u>切土、盛土法面において、落石等の危険がないように緩んだ転石、岩塊等が除去されている。</u> □12) 残土の処理が適切に実施され、残土処分量が資料により確認できる。 □13) その他	a'	b	b'	c	d	e																																																								
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤ 当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目（☆印）が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。	●判断基準 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2">ばらつきで判断可能</td> <td>ばらつきで判断不可能</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>50%以下</td> <td>80%以下</td> <td>80%を超える</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table> 注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。				ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能			50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c			① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤ 当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目（☆印）が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。		●判断基準 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2">ばらつきで判断可能</td> <td>ばらつきで判断不可能</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>50%以下</td> <td>80%以下</td> <td>80%を超える</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table> 注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。				ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能			50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c
		ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能																																																												
		50%以下	80%以下	80%を超える																																																												
評価値	90%以上	a	a'	b																																																												
	75%以上90%未満	a'	b	b'																																																												
	60%以上75%未満	b	b'	c																																																												
	60%未満	b'	c	c																																																												
		ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能																																																												
		50%以下	80%以下	80%を超える																																																												
評価値	90%以上	a	a'	b																																																												
	75%以上90%未満	a'	b	b'																																																												
	60%以上75%未満	b	b'	c																																																												
	60%未満	b'	c	c																																																												



改定後

工事成績評定の考査項目別運用表（土木工事）

様式土3-5(3) [記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する

Table with columns for examination items (a-e), criteria, and evaluation methods. Includes a judgment scale table at the bottom.

現 行

工事成績評定の考査項目別運用表（土木工事）

様式土3-5(3) [記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する

Table with columns for examination items (a-e), criteria, and evaluation methods. Includes a judgment scale table at the bottom.

改定後

工事成績評定の考査項目別運用表（土木工事）

様式土3-5(4) □ [記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する□

Table with columns for examination items (a-e), criteria, and evaluation methods. Includes a judgment scale table at the bottom.

現 行

工事成績評定の考査項目別運用表（土木工事）

様式土3-5(4) □ [記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する□

Table with columns for examination items (a-e), criteria, and evaluation methods. Includes a judgment scale table at the bottom.



改定後

現行

工事成績評定の審査項目別運用表（土木工事）

工事成績評定の審査項目別運用表（土木工事）

様式土3-5(5) 記入方法 該当する項目の□にレマークを記入する

様式土3-5(5) 記入方法 該当する項目の□にレマークを記入する

Table with 5 columns (a-e) for inspection items. Includes criteria for concrete quality, reinforcement, and construction methods. Includes a judgment scale table and a note about evaluation criteria.

Table with 5 columns (a-e) for inspection items. Includes criteria for concrete quality, reinforcement, and construction methods. Includes a judgment scale table and a note about evaluation criteria.

改定後

現行

工事成績評定の審査項目別運用表（土木工事）

工事成績評定の審査項目別運用表（土木工事）

様式土3-5(6) 記入方法 該当する項目の□にレマークを記入する

様式土3-5(6) 記入方法 該当する項目の□にレマークを記入する

Table with 5 columns (a-e) for inspection items. Includes criteria for concrete quality, reinforcement, and construction methods. Includes a judgment scale table and a note about evaluation criteria.

Table with 5 columns (a-e) for inspection items. Includes criteria for concrete quality, reinforcement, and construction methods. Includes a judgment scale table and a note about evaluation criteria.



改定後

現 行

工事成績評定の考査項目別運用表（土木工事）

工事成績評定の考査項目別運用表（土木工事）

様式土3-5(8)-3口  
【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する

様式土3-5(8)-3口  
【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する

考査項目	細別	a				b				c				d				e																																	
		a	a'	b	b'	a	a'	b	b'	a	a'	b	b'	a	a'	b	b'	a	a'	b	b'																														
3. 出来形及び出来ばえ	法面工事 (NO.3)	<p>□品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。            【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】、 ※バラツキの判断は様式3-1 1図参照</p> <p>●評価対象項目  <b>【グラウンドアンカー工・鉄筋挿入工関係】</b>            ☆ □35) グラウンドアンカー工の削孔は位置、削孔径、長さ、方向が設計図書に示されたとおり、実施されていることが確認できる。            □36) グラウンドアンカー工の削孔終了後、スライムが除去されていることが確認できる。            ☆ □37) アンカー部材が適切に組み立てられ、設計図書どおりの長さ、位置で挿入していることが、点検記録等により確認できる。            □38) グラウト注入圧が設計注入圧を超えていないこと、また注入したグラウトと同等の性状のものが孔口から排出されるまで、中断せずに連続して作業していることが確認できる。            □39) アンカー工の各種試験が、事前に提出された試験計画書どおりに実施されていることが確認できる。            □40) 支圧版が適切に設置されていることが確認できる。</p> <p><b>【連続繊維補強土工関係】</b>            ☆ □41) 築造勾配が適切で、厚さが均等であることが確認できる。            □42) 連続繊維の混入量が管理され、適切な配合量であることが確認できる。            □43) 砂質土の表面水の試験を行い、適切な配合量であることが確認できる。            □44) 築造後の跳ね返り砂の除去・清掃を行っていることが確認できる。            □45) 補強土の一面せん断試験を実施し、所定の強度が確認できる。            □46) 築造量や繊維計量器のキャリブレーションが実施されている。            □47) 裏面排水材が適切に施工されている。            □48) アンカーを設計図書どおりの長さ、削孔径、配置、頭部突出長で施工していることが確認できる。            □49) アンカーの削孔終了後、スライムが除去されグラウトの充填状況が確認できる。            □50) 保水、保肥材を設計図書どおりの密度で設置していることが確認できる。</p> <p><b>【その他】</b>            □51) その他</p>																																																	
<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。            ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。            ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )            ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。□            ⑤ 当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。</p>																																																			
<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="4">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> <th>ばらつきで判断可能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>																						評価値	ばらつきで判断可能				判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断可能	90%以上	a	a'	b	b'	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能				判断不可能																																														
	50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断可能																																															
90%以上	a	a'	b	b'																																															
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																															
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																															
60%未満	b'	c	c	c																																															

考査項目	細別	a				b				c				d				e																																	
		a	a'	b	b'	a	a'	b	b'	a	a'	b	b'	a	a'	b	b'	a	a'	b	b'																														
3. 出来形及び出来ばえ	法面工事 (NO.3)	<p>□品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。            【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】、 ※バラツキの判断は様式3-1 1図参照</p> <p>●評価対象項目  <b>【グラウンドアンカー工・鉄筋挿入工関係】</b>            ☆ □35) グラウンドアンカー工の削孔は位置、削孔径、長さ、方向が設計図書に示されたとおり、実施されていることが確認できる。            □36) グラウンドアンカー工の削孔終了後、スライムが除去されていることが確認できる。            ☆ □37) アンカー部材が適切に組み立てられ、設計図書どおりの長さ、位置で挿入していることが、点検記録等により確認できる。            □38) グラウト注入圧が設計注入圧を超えていないこと、また注入したグラウトと同等の性状のものが孔口から排出されるまで、中断せずに連続して作業していることが確認できる。            □39) アンカー工の各種試験が、事前に提出された試験計画書どおりに実施されていることが確認できる。            □40) 支圧版が適切に設置されていることが確認できる。</p> <p><b>【連続繊維補強土工関係】</b>            ☆ □41) 築造勾配が適切で、厚さが均等であることが確認できる。            □42) 連続繊維の混入量が管理され、適切な配合量であることが確認できる。            □43) 砂質土の表面水の試験を行い、適切な配合量であることが確認できる。            □44) 築造後の跳ね返り砂の除去・清掃を行っていることが確認できる。            □45) 補強土の一面せん断試験を実施し、所定の強度が確認できる。            □46) 築造量や繊維計量器のキャリブレーションが実施されている。            □47) 裏面排水材が適切に施工されている。            □48) アンカーを設計図書どおりの長さ、削孔径、配置、頭部突出長で施工していることが確認できる。            □49) アンカーの削孔終了後、スライムが除去されグラウトの充填状況が確認できる。            □50) 保水、保肥材を設計図書どおりの密度で設置していることが確認できる。</p> <p>□51) その他</p>																																																	
<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。            ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。            ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )            ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。□            ⑤ 当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。</p>																																																			
<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="4">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> <th>判断不可能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>																						評価値	ばらつきで判断可能				判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	判断不可能	90%以上	a	a'	b	b'	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能				判断不可能																																														
	50%以下	80%以下	80%を超える	判断不可能																																															
90%以上	a	a'	b	b'																																															
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																															
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																															
60%未満	b'	c	c	c																																															

改定後

現 行

工事成績評定の考査項目別運用表（土木工事）

工事成績評定の考査項目別運用表（土木工事）

様式土3-5(10)-2口  
【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する

様式土3-5(10)-2口  
【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する

考査項目	細別	a				b				c				d				e																																	
		a	a'	b	b'	a	a'	b	b'	a	a'	b	b'	a	a'	b	b'	a	a'	b	b'																														
3. 出来形及び出来ばえ	基礎工事及び地盤改良工事 (NO.2)	<p>□品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。            【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】、 ※バラツキの判断は様式3-1 1図参照</p> <p>●評価対象項目  <b>【深礎杭】</b>            □21) ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みが少なくなるよう配慮して施工していることが確認できる。            □22) 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。            □23) 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料が、整理されていることが確認できる。            □24) 裏込材（グラウト用モルタル）が設計図書に基づく配合試験及び試験が行われており、適切なモルタルの規格が確認できる。            □25) コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量、塩基総量、単位水量等の測定結果が確認できる。            □26) 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さを適切に行っている。            □27) 鉄筋の品質が証明書類で確認できる。            □28) 鉄筋の引張強度・曲げ強度が試験値で確認できる。（監督員が立会した場合を含む。）            □29) コンクリート打設までさび、どろ、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理されていることが確認できる。            □30) 鉄筋の組立及び加工が、設計図書を満足していることが確認できる。            □31) コンクリートの圧縮強度を管理し、工期内に28日強度が確認できない場合は監督員と所定の協議を行っている。  <b>【鋼管井筒基礎工】</b>            □32) 杭の仮置き方法が適切である。            □33) 溶接の品質管理に関して、設計図書に定められた仕様を満足していることが確認できる。            □34) コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量、単位水量等の測定結果が確認できる。            □35) 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高を適切に行っている。            □36) 鉄筋の品質が証明書類で確認できる。            □37) 鉄筋の引張強度・曲げ強度が試験値で確認できる。（監督員が立会した場合を含む。）            □38) コンクリート打設までさび、どろ、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理されていることが確認できる。            □39) 鉄筋の組立及び加工が、設計図書を満足していることが確認できる。  <b>【地盤改良関係】</b>            □40) 施工地盤は不陸整正され、安定剤が路床土と均一に攪拌混合されていることが確認できる。            □41) 安定剤の散布及び混合時に粉塵等の対策が実施されている。            □42) 置き換え掘削深さ及び幅は設計書どおり確保され、一層の敷均し厚は所定の仕上がり厚で十分に締め固められている。            □43) サンドドレーン・ペーパードレーン工法では、材料の使用量が記録されている。            □44) 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等が行われていることが確認できる。            □45) 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。            □46) 設計図書に示された六価クロム溶出試験が行われ、監督員の承諾がなされていることが確認できる。</p> <p><b>【その他】</b>            □47) その他</p>																																																	
<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。            ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。            ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )            ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。□            ⑤ 当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。</p>																																																			
<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="4">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> <th>判断不可能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>																						評価値	ばらつきで判断可能				判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	判断不可能	90%以上	a	a'	b	b'	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能				判断不可能																																														
	50%以下	80%以下	80%を超える	判断不可能																																															
90%以上	a	a'	b	b'																																															
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																															
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																															
60%未満	b'	c	c	c																																															

考査項目	細別	a				b				c				d				e																																	
		a	a'	b	b'	a	a'	b	b'	a	a'	b	b'	a	a'	b	b'	a	a'	b	b'																														
3. 出来形及び出来ばえ	基礎工事及び地盤改良工事 (NO.2)	<p>□品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。            【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】、 ※バラツキの判断は様式3-1 1図参照</p> <p>●評価対象項目  <b>【深礎杭】</b>            □21) ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みが少なくなるよう配慮して施工していることが確認できる。            □22) 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。            □23) 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料が、整理されていることが確認できる。            □24) 裏込材（グラウト用モルタル）が設計図書に基づく配合試験及び試験が行われており、適切なモルタルの規格が確認できる。            □25) コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量、塩基総量、単位水量等の測定結果が確認できる。            □26) 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さを適切に行っている。            □27) 鉄筋の品質が証明書類で確認できる。            □28) 鉄筋の引張強度・曲げ強度が試験値で確認できる。（監督員が立会した場合を含む。）            □29) コンクリート打設までさび、どろ、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理されていることが確認できる。            □30) 鉄筋の組立及び加工が、設計図書を満足していることが確認できる。            □31) コンクリートの圧縮強度を管理し、工期内に28日強度が確認できない場合は監督員と所定の協議を行っている。  <b>【鋼管井筒基礎工】</b>            □32) 杭の仮置き方法が適切である。            □33) 溶接の品質管理に関して、設計図書に定められた仕様を満足していることが確認できる。            □34) コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量、単位水量等の測定結果が確認できる。            □35) 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高を適切に行っている。            □36) 鉄筋の品質が証明書類で確認できる。            □37) 鉄筋の引張強度・曲げ強度が試験値で確認できる。（監督員が立会した場合を含む。）            □38) コンクリート打設までさび、どろ、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理されていることが確認できる。            □39) 鉄筋の組立及び加工が、設計図書を満足していることが確認できる。  <b>【地盤改良関係】</b>            □40) 施工地盤は不陸整正され、安定剤が路床土と均一に攪拌混合されていることが確認できる。            □41) 安定剤の散布及び混合時に粉塵等の対策が実施されている。            □42) 置き換え掘削深さ及び幅は設計書どおり確保され、一層の敷均し厚は所定の仕上がり厚で十分に締め固められている。            □43) サンドドレーン・ペーパードレーン工法では、材料の使用量が記録されている。            □44) 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等が行われていることが確認できる。            □45) 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。            □46) 設計図書に示された六価クロム溶出試験が行われ、監督員の承諾がなされていることが確認できる。</p> <p>□47) その他</p>																																																	
<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。            ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。            ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )            ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。□            ⑤ 当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。</p>																																																			
<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="4">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> <th>判断不可能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>																						評価値	ばらつきで判断可能				判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	判断不可能	90%以上	a	a'	b	b'	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能				判断不可能																																														
	50%以下	80%以下	80%を超える	判断不可能																																															
90%以上	a	a'	b	b'																																															
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																															
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																															
60%未満	b'	c	c	c																																															

改定後					現 行																																																						
工事成績評定の審査項目別運用表（土木工事）					工事成績評定の審査項目別運用表（土木工事）																																																						
様式土3-5 (11) □ 【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する					様式土3-5 (11) □ 【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する																																																						
審査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e																																																			
3. 出来形及び出来ばえ	二次製品構造物、小型構造物	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】、 ※バラツキの判断は様式3-11図参照				<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】、 ※バラツキの判断は様式3-11図参照																																																					
II. 品質	●評価対象項目	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合（手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合）は、「d」より上位の評価とすることができる。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合（手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合）は、「d」より上位の評価とすることができる。																																																					
	★	<input type="checkbox"/> 1) 施工基面が平滑に仕上げられ、浮き石、ゴミ、湧水及び滲水等を排除して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2) 盛土又は埋戻し材料が設計図書の仕様を満足しているとともに、巻出し、転圧が適切に施工され、設計図に示す形状に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3) コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量、塩基総量、単位水量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 4) 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 5) 施工条件や気象条件に適した運搬・打設時間、打設時の投入高さ、締固め方法及び養生方法が定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> 6) コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理、面取りが適切に行なわれているとともに、脱型後に、型枠の締め付け材がコンクリート表面に残されていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7) コンクリートの圧縮強度を管理し、工期内に28日強度が確認できない場合は監督員と所定の協議を行っている。 <input type="checkbox"/> 8) 製品に有害なひび割れ等の損傷がない、又は、損傷部を適切に補修している。 <input type="checkbox"/> 9) <u>製品の<del>外観検査を実施しており、及び品質規格証明書等の資料が整っている。</del></u> <input type="checkbox"/> 10) 製品のかみ合わせが適切に施工されている。また、組立製品の連結等の適切な施工が、点検記録等により確認できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 11) 緊張及びグラウト管理が適切に実施され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 12) 継目部の目地モルタルが適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 13) その他				<input checked="" type="checkbox"/> 1) 施工基面が平滑に仕上げられ、浮き石、ゴミ、湧水及び滲水等を排除して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2) 盛土又は埋戻し材料が設計図書の仕様を満足しているとともに、巻出し、転圧が適切に施工され、設計図に示す形状に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3) コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量、塩基総量、単位水量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 4) 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 5) 施工条件や気象条件に適した運搬・打設時間、打設時の投入高さ、締固め方法及び養生方法が定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> 6) コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理、面取りが適切に行なわれているとともに、脱型後に、型枠の締め付け材がコンクリート表面に残されていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7) コンクリートの圧縮強度を管理し、工期内に28日強度が確認できない場合は監督員と所定の協議を行っている。 <input type="checkbox"/> 8) 製品に有害なひび割れ等の損傷がない、又は、損傷部を適切に補修している。 <input type="checkbox"/> 9) <u>JIS製品以外の製品は、<del>外観及び品質規格証明書等の資料が整っている。</del></u> <input checked="" type="checkbox"/> 10) 製品のかみ合わせが適切に施工されている。また、組立製品の連結等の適切な施工が、点検記録等により確認できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 11) 緊張及びグラウト管理が適切に実施され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 12) 継目部の目地モルタルが適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 13) その他																																																					
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。□ ⑤ 当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(★印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。				① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。□ ⑤ 当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(★印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。																																																					
		●判断基準				●判断基準																																																					
		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																																							
	50%以下	80%以下	80%を超える																																																								
評価値	90%以上	a	a'	b																																																							
	75%以上90%未満	a'	b	b'																																																							
	60%以上75%未満	b	b'	c																																																							
	60%未満	b'	c	c																																																							
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																																							
	50%以下	80%以下	80%を超える																																																								
評価値	90%以上	a	a'	b																																																							
	75%以上90%未満	a'	b	b'																																																							
	60%以上75%未満	b	b'	c																																																							
	60%未満	b'	c	c																																																							
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。				注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																																					

改定後					現 行																																																						
工事成績評定の審査項目別運用表（土木工事）					工事成績評定の審査項目別運用表（土木工事）																																																						
様式土3-5 (13) 【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する					様式土3-5 (13) 【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する																																																						
審査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e																																																			
3. 出来形及び出来ばえ	塗装工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】、 ※バラツキの判断は様式3-11図参照				<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】、 ※バラツキの判断は様式3-11図参照																																																					
II. 品質	●評価対象項目	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合（手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合）は、「d」より上位の評価とすることができる。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合（手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合）は、「d」より上位の評価とすることができる。																																																					
	★	<input type="checkbox"/> 1) 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2) ケレンを入念に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3) 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い塗装作業を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4) 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5) 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6) 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7) 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8) <u>溶接部、ボルトの接合部分、<del>型鋼の隅角部その他の構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。</del></u> <input type="checkbox"/> 9) 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> 10) その他				<input checked="" type="checkbox"/> 1) 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2) ケレンを入念に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3) 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い塗装作業を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4) 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5) 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6) 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7) 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8) <u>溶接部、ボルトの接合部分、<del>構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。</del></u> <input type="checkbox"/> 9) 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> 10) その他																																																					
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。□ ⑤ 当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(★印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。				① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。□ ⑤ 当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(★印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。																																																					
		●判断基準				●判断基準																																																					
		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																																							
	50%以下	80%以下	80%を超える																																																								
評価値	90%以上	a	a'	b																																																							
	75%以上90%未満	a'	b	b'																																																							
	60%以上75%未満	b	b'	c																																																							
	60%未満	b'	c	c																																																							
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																																							
	50%以下	80%以下	80%を超える																																																								
評価値	90%以上	a	a'	b																																																							
	75%以上90%未満	a'	b	b'																																																							
	60%以上75%未満	b	b'	c																																																							
	60%未満	b'	c	c																																																							
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。				注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																																					



改定後					現 行																																
工事成績評定の審査項目別運用表（土木工事）					工事成績評定の審査項目別運用表（土木工事）																																
様式土3-5 (16) □ 【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する□					様式土3-5 (16) □ 【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する□																																
審査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	(検査員)																												
3. 出来形及び出来ばえ	植栽工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。□ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】、 ※バラツキの判断は様式3-11 図参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の手直し指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合（手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合は、「d」より上位の評価とすることができる。																														
II. 品質	☆	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。□ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】、 ※バラツキの判断は様式3-11 図参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の手直し指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合（手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合は、「d」より上位の評価とすることができる。																														
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                         ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                          ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                          ③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）                          ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。□                          ⑤ 当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目（☆印）が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。                     </div>																																					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                         ●判断基準                         <table border="1" style="margin: 0 auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> </div>										評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																					

改定後					現 行																																
工事成績評定の審査項目別運用表（土木工事）					工事成績評定の審査項目別運用表（土木工事）																																
様式土3-5 (17) -2□ 【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する□					様式土3-5 (17) -2□ 【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する□																																
審査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	(検査員)																												
3. 出来形及び出来ばえ	港湾築造工事（浚渫海岸築造工事を含む）(NO.2)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。□ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】、 ※バラツキの判断は様式3-11 図参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の手直し指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合（手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合は、「d」より上位の評価とすることができる。																														
II. 品質	☆	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。□ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】、 ※バラツキの判断は様式3-11 図参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の手直し指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合（手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合は、「d」より上位の評価とすることができる。																														
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                         ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                          ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                          ③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）                          ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。□                          ⑤ 当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目（☆印）が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。                     </div>																																					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                         ●判断基準                         <table border="1" style="margin: 0 auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> </div>										評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																					

改定後					現 行																																																																
工事成績評定の審査項目別運用表（土木工事）					工事成績評定の審査項目別運用表（土木工事）																																																																
様式土3-5 (18) 【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する					様式土3-5 (18) 【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する																																																																
審査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	(検査員)																																																												
3. 出来形及び出来ばえ	ほ場整備工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】、 ※バラツキの判断は様式3-11図参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合（手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合（手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合は、「d」より上位の評価とすることができる。																																																													
II. 品質	☆	●評価対象項目 <b>【整地工】</b> <input type="checkbox"/> 1) 基盤切盛が適正に施工され、基盤の均平度が良好である。 <input type="checkbox"/> 2) 施工にあたって、湧水及び滞水を適切に処理している。 <input type="checkbox"/> 3) 畦畔及び法面が十分に転圧されている。 <input type="checkbox"/> 4) 石礫や雑物が適正に処理されている。 <b>【水路工】【農道工】</b> <input type="checkbox"/> 5) 水路及び構造物の埋め戻し土が十分に締め固められており、周辺との段差がない。 <input type="checkbox"/> 6) 水路及び構造物の掘付面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 7) 水路構造物に損傷がない。又は、損傷部を適切に補修している。 <input type="checkbox"/> 8) コンクリート2次製品の接合が良く、漏水がない。 <input type="checkbox"/> 9) 付帯構造物が設計図書のとおり適正に施工されている。 <input type="checkbox"/> 10) 適正な水路勾配で施工され、ほ場面標高も考慮して施工されている。 <input type="checkbox"/> 11) 道路路体の転圧が充分なされていることが確認できる。道路の上置砕石の転圧が充分に行われている。 <input type="checkbox"/> 12) 旧道路が適切に撤去されている。 <b>【その他】</b> <input type="checkbox"/> 13) その他																																																																			
① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤ 当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤ 当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。																																																																
●判断基準					●判断基準																																																																
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="4">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th colspan="2">80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	ばらつきで判断可能				ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="4">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th colspan="2">80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	ばらつきで判断可能				ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能					ばらつきで判断不可能																																																															
	50%以下	80%以下	80%を超える																																																																		
90%以上	a	a'	b	b																																																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																																																	
60%未満	b'	c	c	c																																																																	
評価値	ばらつきで判断可能				ばらつきで判断不可能																																																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																																																		
90%以上	a	a'	b	b																																																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																																																	
60%未満	b'	c	c	c																																																																	
注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。					注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																																																

改定後					現 行																																																																
工事成績評定の審査項目別運用表（土木工事）					工事成績評定の審査項目別運用表（土木工事）																																																																
様式土3-5 (20) 【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する					様式土3-5 (20) 【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する																																																																
審査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	(検査員)																																																												
3. 出来形及び出来ばえ	管水路工事（パイプライン）、畑かん工事、農業排水用排水工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】、 ※バラツキの判断は様式3-11図参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合（手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合（手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合は、「d」より上位の評価とすることができる。																																																													
II. 品質	☆	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1) 掘削底面が平滑に仕上げられ、浮き石、ゴミ、湧水等を排除して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2) 管及び付属品（制水弁、空気弁等）の掘付及び接合が適正に施工されている。 <input type="checkbox"/> 3) 仕様書等で示す条件により締め固めが実施されている。 <input type="checkbox"/> 4) 路盤復旧が設計図書に示す条件により実施されている。（使用材料、締固め方法、締固め密度等） <input type="checkbox"/> 5) プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録し、 <b>路盤面の浮石などの有害物が除去され、覆土材の散布・塗布が適切に行われ、気象条件等に配慮して数均し、締固めを適切に行っており、また舗設後の交通の開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。</b> <input type="checkbox"/> 6) アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件が配慮されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7) アスファルト舗装工の密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8) 材料の品質が証明書等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 9) 透水試験を適正に行い、漏水の有無等を確認している。 <input type="checkbox"/> 10) その他																																																																			
① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤ 当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤ 当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。																																																																
●判断基準					●判断基準																																																																
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="4">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th colspan="2">80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	ばらつきで判断可能				ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="4">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th colspan="2">80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	ばらつきで判断可能				ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能					ばらつきで判断不可能																																																															
	50%以下	80%以下	80%を超える																																																																		
90%以上	a	a'	b	b																																																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																																																	
60%未満	b'	c	c	c																																																																	
評価値	ばらつきで判断可能				ばらつきで判断不可能																																																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																																																		
90%以上	a	a'	b	b																																																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																																																	
60%未満	b'	c	c	c																																																																	
注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。					注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																																																

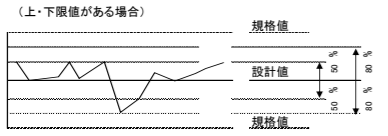
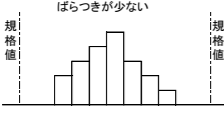
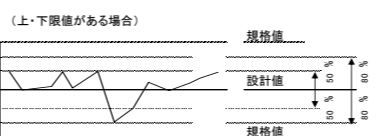
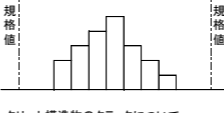
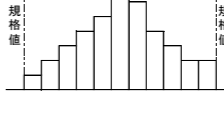






改定後						現 行																																																																	
工事成績評定の審査項目別運用表（土木工事）						工事成績評定の審査項目別運用表（土木工事）																																																																	
様式土3-5 (28) -2 【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する						様式土3-5 (28) -2 【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する																																																																	
(検査員)						(検査員)																																																																	
審査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	審査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e																																																						
3. 出来形及び出来ばえ	下水道工事 (NO.2)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】、 ※バラツキの判断は様式3-11図参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合（手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合は、「d」より上位の評価とすることができる。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合（手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合は、「d」より上位の評価とすることができる。																																																											
II. 品質		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】、 ※バラツキの判断は様式3-11図参照 ●評価対象項目 【シールド工】 <input type="checkbox"/> 31) セグメントの規格・品質が資料・書類等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 32) 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 <input type="checkbox"/> 33) 二次コンクリート打設前に、付着物除去のための十分な水洗清掃を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 34) 常に切羽及び地表面の状態を観測して施工が行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 35) シールド推進作業等がデータで確認できる。 <input type="checkbox"/> 36) 裏込め注入状況がデータで確認できる。 <input type="checkbox"/> 37) 地盤改良工の施工管理状況がデータで確認できる。 【舗装工】 <input type="checkbox"/> 38) 路盤の密度試験を管理基準に基づき実施し、規格を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 39) アスファルト混合物の温度管理が、プラント出荷時・現場到着時・舗設時・交通開放前において実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 40) アスファルト舗装のコア採取により、厚さ、密度を測定し、管理基準の規格を満足していることが確認できる。 【その他】 <input type="checkbox"/> 41) その他					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合（手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合は、「d」より上位の評価とすることができる。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合（手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合は、「d」より上位の評価とすることができる。																																																											
① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。□ ⑤ 当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。						① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。□ ⑤ 当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。																																																																	
●判断基準 <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">ばらつきで判断可能</td> <td style="text-align: center;">ばらつきで判断不可能</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">80%以下</td> <td style="text-align: center;">80%以下</td> <td style="text-align: center;">80%を超える</td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td style="text-align: center;">90%以上</td> <td style="text-align: center;">a</td> <td style="text-align: center;">a'</td> <td style="text-align: center;">b</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">75%以上90%未満</td> <td style="text-align: center;">a'</td> <td style="text-align: center;">b</td> <td style="text-align: center;">b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">60%以上75%未満</td> <td style="text-align: center;">b</td> <td style="text-align: center;">b'</td> <td style="text-align: center;">c</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">60%未満</td> <td style="text-align: center;">b'</td> <td style="text-align: center;">c</td> <td style="text-align: center;">c</td> </tr> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能		80%以下	80%以下	80%を超える		評価値	90%以上	a	a'	b		75%以上90%未満	a'	b	b'		60%以上75%未満	b	b'	c		60%未満	b'	c	c	●判断基準 <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">ばらつきで判断可能</td> <td style="text-align: center;">ばらつきで判断不可能</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">80%以下</td> <td style="text-align: center;">80%以下</td> <td style="text-align: center;">80%を超える</td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td style="text-align: center;">90%以上</td> <td style="text-align: center;">a</td> <td style="text-align: center;">a'</td> <td style="text-align: center;">b</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">75%以上90%未満</td> <td style="text-align: center;">a'</td> <td style="text-align: center;">b</td> <td style="text-align: center;">b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">60%以上75%未満</td> <td style="text-align: center;">b</td> <td style="text-align: center;">b'</td> <td style="text-align: center;">c</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">60%未満</td> <td style="text-align: center;">b'</td> <td style="text-align: center;">c</td> <td style="text-align: center;">c</td> </tr> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能		80%以下	80%以下	80%を超える		評価値	90%以上	a	a'	b		75%以上90%未満	a'	b	b'		60%以上75%未満	b	b'	c		60%未満	b'	c	c
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																																																			
	80%以下	80%以下	80%を超える																																																																				
評価値	90%以上	a	a'	b																																																																			
	75%以上90%未満	a'	b	b'																																																																			
	60%以上75%未満	b	b'	c																																																																			
	60%未満	b'	c	c																																																																			
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																																																			
	80%以下	80%以下	80%を超える																																																																				
評価値	90%以上	a	a'	b																																																																			
	75%以上90%未満	a'	b	b'																																																																			
	60%以上75%未満	b	b'	c																																																																			
	60%未満	b'	c	c																																																																			
注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。						注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																																																	

改定後						現 行					
工事成績評定の審査項目別運用表（土木工事）□						工事成績評定の審査項目別運用表（土木工事）□					
土3-9 社会性等						土3-9 社会性等					
(主任監督員)						(主任監督員)					
審査項目	細別	a	b	c	審査項目	細別	a	b	c		
6. 社会性	I. 地域への貢献等	地域への貢献が非常に優れている		他の事項に該当しない	6. 社会性	I. 地域への貢献等	地域への貢献が非常に優れている		他の事項に該当しない		
評価対象項目						評価対象項目					
1. 周辺地域等の環境保全、貴重種等の動・植物への保護に積極的に取り組んだ。 2. 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域等との景観に合わせる等、積極的に周辺地域との調和を図った。 3. 定期的に広報紙の配布や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。 4. 地域生活に密着したゴミ拾い、道路清掃等のボランティア活動等へ積極的に参加し、地域に貢献した。 5. 災害時等に地域への援助・救援活動に積極的に協力した。 6. その他 理由：						1. 周辺地域等の環境保全、貴重種等の動・植物への保護に積極的に取り組んだ。 2. 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域等との景観に合わせる等、積極的に周辺地域との調和を図った。 3. 定期的に広報紙の配布や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。 4. 地域生活に密着したゴミ拾い、道路清掃等のボランティア活動等へ積極的に参加し、地域に貢献した。 5. 災害時等に地域への援助・救援活動に積極的に協力した。 6. その他 理由：					
該当項目が5項目以上・・・・・・ a 該当項目が1～4項目・・・・・・ b 該当項目なし・・・・・・ c						該当項目が5項目以上・・・・・・ a 該当項目が1～4項目・・・・・・ b 該当項目なし・・・・・・ c					
※1清掃等の社会貢献を環境保全活動として評価する場合は、1箇所（項目）だけのチェックを原則とする。□ ※2地域への貢献等とは、工事の施工にもよって地域社会や地域住民全体に対する配慮等の貢献について評価する。特定個人への対応は評価しない。						※1清掃等の社会貢献を環境保全活動として評価する場合は、1箇所（項目）だけのチェックを原則とする。□ ※2地域への貢献等とは、工事の施工にもよって地域社会や住民に対する配慮等の貢献について評価する。					

改定後	現 行																																																																																																																		
<p style="text-align: center;"><b>様式土3-11 【記入方法及び留意事項】(土木工事関係)</b></p> <p>1. 出来形及び品質のばらつきの考え方 ◎〔管理図の場合〕</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>(上・下限値がある場合)</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>(下限値のみの場合)</p>  </div> </div> <p>注 1. ばらつきの判断は、上記図の上・下限値の50%、80%で a、b、c の判定をする。 2. 品質管理点数が少なく、ばらつきの判定が困難なものは、施工管理、品質管理状況、全体の仕上がり状態を工事記録、目視等で確認し、それに応じた評価とする。</p> <p>◎〔度数表または、ヒストグラムの場合〕(参考)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>ばらつきが少ない</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>ばらつきが大きい</p>  </div> </div> <p>2. 多工種複合工種の取り扱い (1) 出来形のばらつき ・原則として主たる工種と重要な工種の検査内容(基準高、幅、厚さ、高さ、法長、延長等)のばらつきを算定する。 (2) 品質・出来ばえ ・原則として主たる工種と重要な工種について評定した上で、低い点数を採用する。</p> <p>3. コンクリート構造物のクラックについて クラックが発生した構造物は、検査の前までにコンクリート診断士等専門家の意見を聴取し、発注者と協議して対応する。 (1) 有害なクラックについては、補修されている場合、「□」コンクリート構造物に有害なクラックがないの評価項目はチェックしない。補修されていない場合は、d以下の評価とする。 (2) 有害なクラック以外が「□」コンクリート構造物に有害なクラックがないの評価項目はチェックする。 (3) 検査の前までに調査がなされていない場合は指検票により調査を行い、調査結果に基づき評定する。有害なクラックは、d以下の評価とする。有害なクラック以外が「有害なクラックはない」の評価項目をチェックするが、a又はa'の評価はしない。 (4) 出来ばえについて、適切な補修等がしてある場合は「クラックなし」とする。 *上記クラックに関するコンクリート構造物とは、①鉄筋コンクリート(橋梁、樋門、樋管、管渠等)、②重要な無筋コンクリート構造物(ダム(袖部含む)、堰堤、床固、場所打擁壁等)とする。 なお、クラックについては、下記指針等を参考とできるが、専門家の意見が必要。 「コンクリートのひび割れ調査、補修、補強指針」(日本コンクリート工学会)、「コンクリート標準示方書(維持管理編)」(土木学会)</p> <p>4. 運用表の記入方法 (1) 各運用表の該当する項目の□にレマークを記入する。 (2) 該当項目等の%及び値数により、a、(a')、b、(b')、c、d、eを判断し該当記号に○印をつける。 (3) (2)により該当記号を工事成績採点表に写し採点をする。</p> <p>5. (1)「Ⅲ 出来ばえ」で該当項目が減った場合の評定の考え方</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><th colspan="2"></th><th colspan="8">該当チェック項目数(個)</th></tr> <tr><th colspan="2"></th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th></tr> <tr><th rowspan="4">評 定 点</th><th>a</th><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><th>b</th><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><th>c</th><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><th>d</th><td>無</td><td>無</td><td>無</td><td>無</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> </table> <p>(2)積雷等により出来ばえの現地検査ができない場合 ・監督員が行った段階確認及び出来形確認資料や工事写真等で検査を行うが、構造物等について細部まで詳細に検査することが出来ないため、出来ばえは「C」と評定する。</p> <p>6. 「品質」 (1) 品質の重要項目(☆印)とは、その工種において施工上の配慮を特に求める項目である。 (2) 「河川浚渫工」等の品質管理項目が無い場合等の評定の考え方 ・評価対象項目が2項目以下の場合は、C評価とする。 ・品質管理項目がない場合C評価とする。</p>			該当チェック項目数(個)										1	2	3	4	5	6	7	8	評 定 点	a	1	2	3	3	4	5	6	7	b	1	1	2	2	2	3	4	4	c	1	1	1	1	2	3	3	3	d	無	無	無	無	1	2	2	2	<p style="text-align: center;"><b>様式土3-11 【記入方法及び留意事項】(土木工事関係)</b></p> <p>1. 出来形及び品質のばらつきの考え方 ◎〔管理図の場合〕</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>(上・下限値がある場合)</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>(下限値のみの場合)</p>  </div> </div> <p>注 1. ばらつきの判断は、上記図の上・下限値の50%、80%で a、b、c の判定をする。 2. 品質管理点数が少なく、ばらつきの判定が困難なものは、施工管理、品質管理状況、全体の仕上がり状態を工事記録、目視等で確認し、それに応じた評価とする。</p> <p>◎〔度数表または、ヒストグラムの場合〕(参考)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>ばらつきが少ない</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>ばらつきが大きい</p>  </div> </div> <p>2. 多工種複合工種の取り扱い (1) 出来形のばらつき ・原則として主たる工種と重要な工種の検査内容(基準高、幅、厚さ、高さ、法長、延長等)のばらつきを算定する。 (2) 品質・出来ばえ ・原則として主たる工種と重要な工種について評定した上で、低い点数を採用する。</p> <p>3. コンクリート構造物のクラックについて クラックが発生した構造物は、検査の前までにコンクリート診断士等専門家の意見を聴取し、発注者と協議して対応する。 (1) 有害なクラックについては、補修されている場合、「□」コンクリート構造物に有害なクラックがないの評価項目はチェックしない。補修されていない場合は、d以下の評価とする。 (2) 有害なクラック以外が「□」コンクリート構造物に有害なクラックがないの評価項目はチェックする。 (3) 検査の前までに調査がなされていない場合は指検票により調査を行い、調査結果に基づき評定する。有害なクラックは、d以下の評価とする。有害なクラック以外が「有害なクラックはない」の評価項目をチェックするが、a又はa'の評価はしない。 (4) 出来ばえについて、適切な補修等がしてある場合は「クラックなし」とする。 *上記クラックに関するコンクリート構造物とは、①鉄筋コンクリート(橋梁、樋門、樋管、管渠等)、②重要な無筋コンクリート構造物(ダム(袖部含む)、堰堤、床固、場所打擁壁等)とする。 なお、クラックについては、下記指針等を参考とできるが、専門家の意見が必要。 「コンクリートのひび割れ調査、補修、補強指針」(日本コンクリート工学会)、「コンクリート標準示方書(維持管理編)」(土木学会)</p> <p>4. 運用表の記入方法 (1) 各運用表の該当する項目の□にレマークを記入する。 (2) 該当項目等の%及び値数により、a、(a')、b、(b')、c、d、eを判断し該当記号に○印をつける。 (3) (2)により該当記号を工事成績採点表に写し採点をする。</p> <p>5. (1)「Ⅲ 出来ばえ」で該当項目が減った場合の評定の考え方</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><th colspan="2"></th><th colspan="8">該当チェック項目数(個)</th></tr> <tr><th colspan="2"></th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th></tr> <tr><th rowspan="4">評 定 点</th><th>a</th><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><th>b</th><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><th>c</th><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><th>d</th><td>無</td><td>無</td><td>無</td><td>無</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> </table> <p>(2)積雷等により出来ばえの現地検査ができない場合 ・監督員が行った段階確認及び出来形確認資料や工事写真等で検査を行うが、構造物等について細部まで詳細に検査することが出来ないため、出来ばえは「C」と評定する。</p> <p>6. 「品質」 (1) 品質の重要項目(☆印)とは、その工種において施工上の配慮を特に求める項目である。 (2) 「河川浚渫工」等の品質管理項目が無い場合等の評定の考え方 ・評価対象項目が2項目以下の場合は、C評価とする。 ・品質管理項目がない場合C評価とする。</p>			該当チェック項目数(個)										1	2	3	4	5	6	7	8	評 定 点	a	1	2	3	3	4	5	6	7	b	1	1	2	2	2	3	4	4	c	1	1	1	1	2	3	3	3	d	無	無	無	無	1	2	2	2
		該当チェック項目数(個)																																																																																																																	
		1	2	3	4	5	6	7	8																																																																																																										
評 定 点	a	1	2	3	3	4	5	6	7																																																																																																										
	b	1	1	2	2	2	3	4	4																																																																																																										
	c	1	1	1	1	2	3	3	3																																																																																																										
	d	無	無	無	無	1	2	2	2																																																																																																										
		該当チェック項目数(個)																																																																																																																	
		1	2	3	4	5	6	7	8																																																																																																										
評 定 点	a	1	2	3	3	4	5	6	7																																																																																																										
	b	1	1	2	2	2	3	4	4																																																																																																										
	c	1	1	1	1	2	3	3	3																																																																																																										
	d	無	無	無	無	1	2	2	2																																																																																																										

改定後	現 行
<p style="text-align: center;"><b>建設工事成績評定要領</b></p> <p>第1条～第6条 (略)</p> <p>附 則 (略)</p> <p>附 則 この要領は、令和4年4月1日から施行する。</p> <p>附 則 この要領は、令和5年4月1日から施行する。</p>	<p style="text-align: center;"><b>建設工事成績評定要領</b></p> <p>第1条～第6条 (略)</p> <p>附 則 (略)</p> <p>附 則 この要領は、令和4年4月1日から施行する。</p>